

全鉄連流通動態調査結果表平成24年1月分

(24.2.21)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前 月 在 庫 量		仕 入 れ 量		販 売 量		月 末 在 庫 量		
		12月実績	前月比%	1月実績	前月比%	1月実績	前月比%	1月実績	前月比%	
異 形 棒 鋼	東 京	24,791	99.0	59,100	90.9	59,014	90.4	10,663	43.0	
	大 阪	5,644	99.5	19,145	90.3	18,995	89.5	5,794	102.7	
	愛 知	6,859	111.0	3,428	69.5	2,531	59.5	7,756	113.1	
	計	37,294	101.1	81,673	89.6	80,540	88.7	24,213	64.9	
形 鋼	山 形 鋼	東 京	21,763	97.1	9,669	109.8	9,165	96.8	22,267	102.3
		大 阪	15,414	90.9	8,329	98.5	8,530	85.2	15,213	98.7
		愛 知	10,529	98.5	6,513	91.6	6,022	82.8	11,020	104.7
		計	47,706	95.3	24,511	100.6	23,717	88.7	48,500	101.7
	溝 形 鋼	東 京	12,956	91.2	8,840	145.9	7,404	101.2	14,392	111.1
		大 阪	10,199	91.0	6,293	107.8	5,927	86.5	10,565	103.6
		愛 知	6,149	93.3	5,283	130.8	4,400	98.2	7,032	114.4
		計	29,304	91.5	20,416	128.1	17,731	95.1	31,989	109.2
	H 形 鋼	東 京	24,773	99.8	13,493	110.1	12,220	99.3	26,046	105.1
		大 阪	33,927	102.1	25,276	78.9	26,173	83.6	33,030	97.4
		愛 知	21,308	98.0	10,308	89.8	10,647	89.4	20,969	98.4
		計	80,008	100.3	49,077	88.0	49,040	88.3	80,045	100.0
合 計		157,018	97.0	94,004	97.9	90,488	89.7	160,534	102.2	
コ ラ ム	東 京	6,947	98.7	1,981	85.6	2,180	90.5	6,748	97.1	
	大 阪	11,091	96.2	3,018	88.1	2,743	71.0	11,366	102.5	
	愛 知	2,775	101.6	1,248	104.2	1,213	105.0	2,810	101.3	
	計	20,813	97.7	6,247	90.0	6,136	82.6	20,924	100.5	
軽 量 C 形 鋼	東 京	3,414	96.9	2,589	93.7	2,545	88.6	3,458	101.3	
	大 阪	2,883	106.1	1,628	72.0	1,877	89.6	2,634	91.4	
	愛 知	2,487	99.9	943	77.4	1,121	91.7	2,309	92.8	
	計	8,784	100.6	5,160	82.6	5,543	89.5	8,401	95.6	
総 計		223,909	97.9	187,084	93.3	182,707	89.0	214,072	95.6	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 37、大阪 23、愛知 15、合計 75社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直し提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し上記のとおり発表することとなった。その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりブレン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。